

平成30年度 宇佐市興農会被表彰者

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名 (法人等代表者)	住所	功績等
1	農業後継者	いしだ こうたろう 石田 光太郎	大字上田	平成28年に新規就農。以降、丁寧な作業を通じて良質な農産物の生産に取り組む。 現在、畑田地区の人・農地プランに位置づけられ、地区の中心的経営体の役割を担っている。今後の宇佐市の農業を担う若手の一人として期待される。
2	優良生産農家	もんぜん ふみとし 門前 文利	大字上敷田	高品質及び売れる米・麦・大豆づくりを構築するため、毎年の土壌改良等に取り組んでいる。 併せて、肥料や資材の一括購入等の工夫を重ね低コスト化に取り組んでいる。 また、上敷田地区の農家間の連携や相談、高齢者の耕作依頼等にもよく応じ、地区農業・農地を守る役割を担っている。
3	優良生産農家	おの ひろゆき 小野 廣幸	安心院町南畑	自作の傍ら地元丸田地区のほか、東椎屋、小田、若林、五郎丸地区の水稻作業の請負を担い、広く地域の農業・農地の守り約を担っている。 特に高齢者、離農者に寄り添う姿勢に対しての信頼は厚く、相手からの強い要望にて請負に応じている。
4	優良生産農家	ぎょうとく ただみ 行徳 忠己	大字赤尾	米・麦・大豆の栽培等、農地の効率的な活用、利益向上の観点に重きを置く農業に取り組んでいるほか、下赤尾地区の耕作放棄地を借り受けての大豆栽培や、環境保全活動への積極的な取り組みを通じ、地区農業・農地を守る役割を担っている。
5	優良生産農家	まつしげ たけし 松重 拓志	安心院町古川	平成21年に椎茸農家として就農。以降、高品質・食味を追求した栽培に取り組み、平成28年の第64回全国乾椎茸品評会にて農林水産大臣賞を受賞。 現在、古川地区の人・農地プランに位置づけられ、地区の中心的経営体の役割を担っている。
6	農業生産法人	(農) ふるとの 古殿	大字東高家	古殿地区は水稻や麦栽培が盛んであったが、高齢化等によりリタイアする農家が増えたため地区の担い手により任意の営農組合を経て法人設立。農地は地区内に集積されており、効率的な経営を構築しながら地区の農業・農地を守っている。 また今後は、所有機械の有効活用を通じ経営規模拡大に取り組む。
7	特別功労者	おおいたあじいち せいざん 大分味一ねぎ生産 ふかい うさ しぶ 部会宇佐支部	大字四日市	宇佐地域の大分味一ねぎ生産農家が会員となり平成元年に設立。以降大分味一ねぎのブランド力、農収益作物としての確立に取り組む。 大分味一ねぎは順調に販売額を伸ばし、平成29年度に10億円に到達、宇佐支部はその4割以上を占めており、中心的存在として更なる販売増に向け取り組んでいる。
8	特別功労者	あじむ 安心院ぶどう部会	安心院町下毛	安心院地域にてぶどう栽培に従事する農家や法人等が部会員となり昭和45年に設立。以降新品種や新技術の導入、低コスト化や省エネ対策等への取り組みを通じ、安心院ぶどうのブランド力強化や農家の安定した経営構築を図っている。 安心院ぶどうは、平成28年に植栽50周年を迎え、部会は更なる発展に取り組んでいる。